

新型コロナウイルス感染防止のためのチェックリスト(宿泊施設)

アピール項目以外の項目は、認証取得のための必須項目です。
 アピール項目は、必須ではありませんが、より強固な感染防止対策として、アピール出来る項目です。
 (二つ星又は三つ星施設として認証を受ける際に必要な項目です。)

飲食店の場合は、別紙1を使用

1. 来館者の感染症予防

(1)入館・受付		
1	館内入口に消毒設備を設置し、入館時に必ず、従業員が来館者に呼びかけ、手指消毒を実施させている。	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
2	フロント、ロビーでは、最低1m以上(マスク着用のない場合は2m)の来館者同士の対人距離を確保するための誘導・表示などを行っている。	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
3	フロントデスクは、透明ビニールカーテン、パーティションなどで遮蔽している。	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
4	フロントデスク、筆記具等は接触ごとに清拭消毒を行っている。	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
5	コイントレイを介した受け渡し(コイントレイの消毒、手指消毒は1回の受付ごとに実施)、またはキャッシュレス決済を導入している。	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
6	団体の受入時には、チェックイン・チェックアウト時に代表者がまとめて手続きを行い、ツアー参加者は1つの場所に固まらず、分散して待機を行うように誘導している。	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
7	発熱(例えば平熱より1度以上)や軽度であっても風邪症状(せきやのどの痛みなど)、嘔吐・下痢等の症状があれば申し出るように呼びかけるとともに、原則として、入り口で来館者への体調確認を行っている。 それらの症状が認められた場合、来館者から新型コロナ・発熱患者受診相談窓口へ連絡するよう要請している。その後の対応は、新型コロナ・発熱患者受診相談窓口の指示に従っている。 旅行者・旅館ホテル等からの新型コロナ関係の相談については、専用窓口 [※] へ連絡する。 (※業者・施設からの専用窓口:0742-81-7455、宿泊客個人からの窓口:新型コロナ・発熱患者受診相談窓口)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
8	飲食時や入浴時などを除き、館内共用部では常にマスクの着用を徹底するよう注意喚起を行っている。	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
9	他人と共用する物品に触れた際等には、必要に応じて手洗い・手指消毒を要請している。	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
エレベーターがある場合 ※複数台ある場合、エレベーターごとに制限		
10	乗員制限の掲示や立ち位置を示すマークを貼付する等により、過密にならないように乗員制限を行っている。 定員数 _____ 人 乗員上限: _____ 人	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ <input checked="" type="radio"/> 該当しない
送迎車がある場合 ※複数台ある場合、車両ごとに制限		
11	過密にならないように乗車人数を制限している。 乗車定員数 <u>13</u> 人 乗車人数上限: <u>7</u> 人	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ <input checked="" type="radio"/> 該当しない
12	車内では過密にならないように着座し、運転席と後部座席をアクリル板・透明ビニールカーテン等で遮蔽するか、窓を開けて常時換気を行っている。	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ <input checked="" type="radio"/> 該当しない

感染防止対策が実施されているかを自身で確認。
 ↓
 実施している場合は、「はい」を○で囲む。
 実施していない場合は、実施後に「はい」を○で囲む。
※認証取得には、必須項目は原則全て「はい」である必要があります。

こちらのように、「エレベーターがある場合・・・」となっている項目で、施設にエレベーターがない場合は、「該当しない」を選択してください。

太枠で囲まれた記載欄は、施設で、実際に実施している内容を記載してください。

EV、送迎車の定員は、メーカー仕様の数値を記載。
 上限は、密の回避、乗車時間などから判断。

(2)館内利用		
①客室		
13	使い捨てコップ、スリッパ等の導入または消毒を徹底している。	はい / いいえ はい
14	一定時間ごとに窓を全開するなどして十分な換気を行うよう要請している。	はい / いいえ はい
②食堂・宴会		
15	発熱(例えば平熱より1度以上)や軽度であっても風邪症状(せきやのどの痛みなど)、嘔吐・下痢等の症状があれば食堂等に入場しないよう要請している。	はい / いいえ 該当しない
【テーブル間の配置】 ※16のどちらか1つを満たすこと		
16	同一グループが使用するテーブルとその他のグループが使用するテーブルの間は、相互に対人距離が最低1m以上確保できるよう配置している。 テーブル間：最低 1.2 m	はい / いいえ 該当しない
	同一グループが使用するテーブルとその他のグループが使用するテーブルの間を、アクリル板(目を覆う程度の高さ以上のものを目安)、透明ビニールカーテン、パーティション等で遮蔽している。	はい / いいえ 該当しない
【同一テーブルでの配置】 ※17のどちらか1つを満たすこと ・少人数の家族、介助者同席の高齢者・乳幼児・障害者等が対面での着座を希望する場合は除く。		
17	真正面での着座配置をせず、座席の間隔を最低1m以上確保できるよう配置している。 座席間隔：最低 1 m	はい / いいえ 該当しない
	テーブル上にパーティション等を設置して遮断している。 パーティションの高さ等は以下のとおりとする。 高さ：座った人の目を覆う程度の高さ以上のものを目安 幅：机と同じ幅以上 配置：2人掛けの場合は一字、4人掛けは十字、6人掛けはキ字のように、隣接する人と正面及び側面が遮蔽されるように配置	はい / いいえ 該当しない
【カウンターテーブルの席の配置】 ※18のどちらか1つを満たすこと		
18	カウンターテーブルの席間は最低1m以上の間隔を確保している。 座席間隔：最低 _____ m	はい / いいえ 該当しない
	カウンターテーブル上にパーティション等を設置して遮蔽している。 パーティションの高さ等は以下のとおりとする。 高さ：座った人の目を覆う程度の高さ以上のものを目安 幅：机と同じ幅以上 配置：隣接する人と側面が遮蔽されるように配置	はい / いいえ 該当しない

距離を確保するか、パーティション等で遮蔽か、実施している項目にチェックをしてください。

施設内で、テーブル同士の間が、最も近い箇所を探し、その距離をメジャー等で測って記載してください。

距離を確保するか、パーティション等で遮蔽か、実施している項目にチェックをしてください。

カウンターテーブルがない施設は、両方「該当しない」を選択してください。

この記載例の施設であれば、「テーブル同士を最低1.2m離し、各テーブルにパーティションを設置しており、カウンターテーブルはない」という対策状況の施設になります。

19	必要なときに、すぐに手指消毒が実施できるよう、席の近くに手指消毒用の消毒液を設置している。	はい / いいえ 該当しない
20	滞在時間の制限(2時間程度を目安)や、予約制の活用などにより同時に多数の人が集まらないようにしている。	はい / いいえ 該当しない
21	大皿は避け、料理を個々に提供している。もしくは従業員が取り分けている。	はい / いいえ 該当しない
22	卓上の共用調味料、ポット等の設置を避けるか、これらを客入れ替え時に消毒している。	はい / いいえ 該当しない
23	お酌や回し飲み、スプーンや箸などの食器の共有や使い回しは避けるように注意喚起を行っている。	はい / いいえ 該当しない
24	店内BGMの音量を低減させ、大声での会話を避けるように注意喚起を行っている。	はい / いいえ 該当しない
25	マスクを外している飲食中も、咳エチケットを徹底するよう注意喚起を行っている。	はい / いいえ 該当しない
26	個室を使用する場合は、常時換気(換気基準は「3. 施設・設備の衛生管理の徹底」のとおり)を行っている。	はい / いいえ 該当しない
ビュッフェスタイルがある場合 ※27のどちらかを満たすこと		
27	宿泊客が一回の料理取り分けごとに新たな小皿を使用するとともに、飛沫がかからないようにカバーを設置するなど食品・ドリンクを保護し、取り分け時はマスク、使い捨て手袋等の着用及び取り分け用の tong や箸を共有としないことを徹底している。	はい / いいえ 該当しない
	料理を小皿に盛って提供するか、スタッフが料理を取り分けている。	はい / いいえ 該当しない

BGMが無い場合は、「大声での会話を避けるよう注意喚起をしているか」に沿って記載してください。

個室を使用しない場合は、「該当しない」を選択してください。

ビュッフェスタイルを行っていない場合は、「該当しない」を選択してください。

【アピール項目】

同一テーブル、カウンターテーブルでの配置		
A1	席間(最低1m以上)の間隔とパーティション等の設置による遮蔽の両方を満たしている。 (テーブルの場合は17の両項目、カウンターテーブルの場合は18の両項目を満たす。)	はい / いいえ
A2	箸やスプーンなどは適切な湯温、洗浄剤を用い徹底して洗浄したものとするか、使い捨てのものを導入している。また、まとめて席に配置せず、利用者ごとに提供している。	はい / いいえ
A3	利用者が外したマスクを、直接テーブルに置かないように、マスクケース等を提供している。	はい / いいえ

「アピール項目」は、認証を受けるために、必ず実施しなくてはならない項目ではありません。ただし、感染リスク低減につながる対策であり、実施が望ましいものです。積極的に実施を検討してください。

③大浴場		
28	入場人数の制限を行っている。 ※複数室ある場合、浴場・サウナ室ごとに制限 【浴場:定員数: 10人 利用可能人数: 6人 サウナ室:定員数: -人 利用可能人数: -人】	はい / いいえ 該当しない
29	浴場の窓を定期的に分けるまたは常時開放している。	はい / いいえ 該当しない
30	浴場内では、最低1m以上の対人距離の確保、会話を控えることを要請している。	はい / いいえ 該当しない
31	サウナ室がある場合、共用のタオル、マットなどの使用を中止している。	はい / いいえ 該当しない
32	休憩スペースがある場合、一度に休憩する人数を減らし、対面での会話を避けるよう要請している。 ※複数施設ある場合、休憩スペースごとに制限 【休憩可能人数: 4人 利用人数上限: 2人】	はい / いいえ 該当しない
33	足拭きマットは定期的に交換している。【交換頻度: 1回/日】	はい / いいえ 該当しない
34	ロッカーは最低1m以上の間隔をあけて使用している。	はい / いいえ 該当しない
35	ロッカー、マッサージ機、体重計等の共有備品は定期的に清拭消毒している。	はい / いいえ 該当しない
36	化粧品、ブラシ等は持参を要請するか、清拭消毒したものを利用者ごとに用意している。	はい / いいえ 該当しない
④その他		
37	トイレの入り口付近(施設側)に消毒液を設置している。	はい / いいえ
38	トイレの蓋がある場合は、蓋を閉めて汚物を流すように表示している。	はい / いいえ 該当しない
39	トイレ使用後は、手洗いや手指消毒を実施するよう表示している。	はい / いいえ
40	喫煙スペースがある場合は、一度に利用する人数を減らす、人と人との距離を保つなどにより、3つの密を避けるよう要請している。 喫煙スペースの広さ: _____ m ² 利用人数上限: _____	はい / いいえ 該当しない

サウナ室がない場合は、「該当しない」を選択してください。

(3) 宿泊客の感染疑いの際の対応		
41	宿泊中に、発熱(例えば平熱より1度以上)や軽度であっても風邪症状(せきやのどの痛みなど)、嘔吐・下痢等の症状があれば、客室からフロントに連絡するとともに、客室内で待機するよう要請している(同行者も同様)。	はい / いいえ
42	感染疑いのある宿泊客への食事提供は、使い捨て容器などにより、回収する必要がある形式として、客室に届けることとし、その際、従業員はマスクを着用の上、宿泊客との接触を避けている。	はい / いいえ
43	宿泊客から新型コロナ・発熱患者受診相談窓口へ連絡するよう要請するとともに、その後は新型コロナ・発熱患者受診相談窓口の指示に従う。	はい / いいえ

宿泊客に感染疑いが生じた際は、宿泊客から相談窓口へ連絡するよう要請してください。また、相談窓口から宿泊客・宿泊施設に対して指示があった際には、そちらの内容に従うようお願いいたします。

2. 従業員の感染症予防

44	常にマスクの着用を徹底する。大声での会話を避けている。	<input checked="" type="radio"/> はい / いいえ
45	業務開始前に検温・体調確認を行っている。 発熱(例えば平熱より1度以上)や軽度であっても風邪症状(せきやのどの痛みなど)、嘔吐・下痢等の症状がある場合には、出勤を停止させている。	<input checked="" type="radio"/> はい / いいえ
46	感染した、もしくは感染疑いのある従業員、濃厚接触者として判断された従業員の就業は禁止している。	<input checked="" type="radio"/> はい / いいえ
47	定期的に、かつ、就業開始時や他者の接触が多い場所・物品に触れた後、清掃後、トイレ使用後に、手洗いや手指消毒を実施している。	<input checked="" type="radio"/> はい / いいえ
48	手袋を着用する場合、作業ごとに付け換えるか、手指消毒や手洗いを実施している。	<input checked="" type="radio"/> はい / いいえ 該当しない
49	利用者への応接にあたっては、利用者の正面に立たないように注意し、対人距離を確保している。	<input checked="" type="radio"/> はい / いいえ
50	休憩スペースでは、マスクを着用し、一度に休憩する人数を減らし、対面での食事や会話を避けている。	<input checked="" type="radio"/> はい / いいえ
51	休憩スペースでは常時換気(換気基準は「3. 施設・設備の衛生管理の徹底」のとおり)を行い、共用する物品は定期的に消毒している。	<input checked="" type="radio"/> はい / いいえ
52	従業員のユニフォームはこまめに洗濯するなど清潔に保っている。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 飲食に携わる従業員：ユニフォーム洗濯頻度： <u>1日</u> ごとに洗濯 上記以外の従業員：ユニフォーム洗濯頻度： <u>2日</u> ごとに洗濯 (洗濯以外の方法による頻度： <u>1日</u> ごとに消毒・除菌) </div>	<input checked="" type="radio"/> はい / いいえ

「飲食に携わる従業員」とは、ウェ이터や厨房内で業務を行う人となります。

「上記以外の従業員」とは、フロント担当者などとなります。

【アピール項目】

A4	業務ごとの感染リスク(利用者とは多く接する業務や接することがない業務等)や従業員の健康状態などを考慮したうえで業務を管理している。	<input checked="" type="radio"/> はい / いいえ
----	---	---

3. 施設・設備の衛生管理の徹底

「建築物における衛生的環境の確保に関する法律」(建築物衛生法)の対象施設の場合(※53、54)		
53	建築物衛生法に基づく空気環境の調整に関する基準を満たしているか確認し、満たしていない場合は、換気設備の清掃、整備等の維持管理を適切に行っている。	<input checked="" type="radio"/> はい / いいえ 該当しない
54	湿度40%以上を目安として、適度に加湿している。	<input checked="" type="radio"/> はい / いいえ 該当しない
建築物衛生法の対象外施設の場合 ※55のどちらかを満たすこと		
55	窓の開放による換気の場合は、1時間当たりの換気回数を2回以上確保するため、30分に1回、5分程度、2方向の窓を全開(窓が一つしかない場合は、ドアを開ける)するなどして十分な換気を行っている。また、換気のため窓やドアを開放している旨利用者に周知し、協力を要請している。	<input checked="" type="radio"/> はい / いいえ 該当しない
	換気設備により必要換気量(一人あたり毎時30m ³)を確保している。必要換気量が足りない場合は、入館者数を調整して一人あたりの必要換気量を確保するとともに、換気設備の清掃、整備等の維持管理を適切に行っている。	はい / <input checked="" type="radio"/> いいえ 該当しない
建築物衛生法対象施設・対象外施設 共通事項		
56	共通のタオルを禁止し、ペーパータオルを設置するか、または個人のハンドタオル等の使用を促している。	<input checked="" type="radio"/> はい / いいえ
57	他人と共用する物品や複数の人の手が触れる場所を消毒用エタノールや次亜塩素酸ナトリウム、市販の界面活性剤含有の洗浄剤を用いて利用者の入替時など定期的に清拭消毒している。 ＜宿泊業で他人と共用し接触が多い部位＞ フロントデスク、メニューブック、テーブル、椅子、調味料、ドリンクバー、ドアノブ、タッチパネル、卓上ベル、蛇口、手すり、便座、洗浄レバー、コイントレイ、券売機、エレベーターのボタン、アクリル板、透明ビニールカーテン、パーティション、レジ、電気のスイッチなど	<input checked="" type="radio"/> はい / いいえ
58	ゴミを回収する者はマスクや手袋を着用し、作業後、必ず手を洗っている。	<input checked="" type="radio"/> はい / いいえ
59	食品残さ、鼻水、唾液などが付着した可能性のあるゴミ、おしぼり等は、ビニール袋に密閉して処理している。	<input checked="" type="radio"/> はい / いいえ

建築物衛生法は、大きな建築物(商業モール、オフィスビル、旅館など)の全体の環境衛生に関する法律です。延べ床面積が3000平米以下の戸建ての店舗であれば、対象外となります。該当するかどうかは、建築物全体の管理者に確認してください。

必要換気量がわからない場合は、「いいえ」を選択してください。

【アピール項目】

A5	施設内を、感染対策上の汚染度のリスクに応じたゾーニング(区域分け)を行い管理している。(人が集まりやすい共用エリア、従業員専用のエリアなど、エリアごとにリスク評価を実施。)	はい / <input checked="" type="radio"/> いいえ
A6	換気を徹底するにあたり、CO ₂ センサーの使用等により、換気状況の把握に努め、室内の二酸化炭素濃度が常時1000ppmを超えないように換気を実施している。 CO ₂ センサー設置場所:ドア、窓、換気口から離れた場所で、人から少なくとも50cm離れたところ。	<input checked="" type="radio"/> はい / いいえ
A7	施設内の人が集まりやすい共用エリアについて、換気の詳細(換気回数や空気の流れなど)をわかりやすく図示している。	はい / <input checked="" type="radio"/> いいえ
A8	施設内の人が集まりやすい共用エリアについて、エリア内での一人当たりの必要換気量を確保するため、エリアごとの換気量及び必要換気量上の人数制限を算出し、一覧表等で管理できている。 【必要換気量確保のために人数制限する場合】 換気量 : ____ m ³ /時 ÷ 30m ³ /人・時 = ____ 人 (必要換気量上の人数制限)	はい / <input checked="" type="radio"/> いいえ
A9	接触感染、飛沫感染のリスクを低減するため、利用者の動線が重ならないための案内や、自動扉、自動水栓、オート機能付きトイレ(自動開閉・自動洗浄など)を設置するなどの工夫・整備を行っている。 【具体的な取組の内容】 宿泊客の動線が重ならないように、フロント前ロビーの動線を一方通行にするなどの制限をしている。また、トイレでの接触感染を防ぐために、便器の蓋が自動開閉・自動水栓式のものを設置している。	<input checked="" type="radio"/> はい / いいえ

4. チェックリストの作成・公表

【アピール項目】

A10	各施設・事業者は、施設内のリスク評価をしたうえで、具体的な方法や手順、清掃・消毒の頻度、人と人との間隔の空け方などを定めたチェックリストを作成するとともに、当該チェックリストによる毎日の確認について、利用者から見える場所に掲示している。	はい / いいえ
-----	--	----------

5. 感染者発生に備えた対処方針

60	施設の従業員の感染が判明した場合保健所の指示・調査等に誠実かつ積極的に対応・協力して、当該施設からの感染拡大防止策を講じるとともに、必要に応じ感染の可能性のある営業日など感染拡大防止のための情報を公表する。	はい / いいえ
61	従業員に対し、感染疑いがある場合は検査結果が判明するまで出勤を控えることなど、感染拡大を防止する上で適切な行動を徹底するための研修機会を提供している。	はい / いいえ
62	保健所が行う調査の結果、感染者が当該施設を利用していたことが判明した場合、保健所の助言・指示等に誠実かつ積極的に対応・協力して、当該施設を介した感染拡大を防止する対策を講じるとともに、必要に応じ感染の可能性のある営業日など感染拡大防止のための情報を公表する。	はい / いいえ

【アピール項目】

A11	施設内でクラスターが発生した場合や、従業員から感染者が発生した場合の対応方法・保健所や取引先などの連絡先(消毒方法や一時休業とする際の周知等)について、あらかじめ規定している。	はい / いいえ
※A12 どちらか1つ以上を満たすこと		
A12	感染リスクの早期把握のため、国が提供する濃厚接触通知アプリの利用をルール化ないし奨励している。	はい / いいえ
	上記以外の方法により、感染リスクの早期把握の仕組みを導入している。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【具体的な取組の内容】</p> <p>宿泊期間中は毎日体調チェックの声かけをするとともに、施設を利用した数日後に再度、症状がないかの確認を行っている。</p> <p>(事前にその旨を正確に伝えた上で、後日フォローの電話をしている。)</p> </div>	はい / いいえ